

陶芸用釉薬価格表(税抜き)

商品名	価格		焼成温度	ボーメ値 (濃度)	焼成 方法	施釉 厚さ	備考
	1L	5L					
赤天目	¥1,800	¥7,650	1230~1250℃	55-60	両方	〇〇	高台の拭き取り痕が残りやすい
伊羅保	¥1,640	¥6,970	1200~1230℃	45-52	両方	△	垂れやすいので注意
S赤(鉄赤)	¥2,520	¥10,710	1220~1250℃	50-58	両方	〇	
Ai 織部	¥2,000	¥8,500	1200~1230℃	48-60	酸化	〇〇	冷却がゆっくりだと結晶がでやすい
柿釉	¥1,720	¥7,310	1210~1230℃	45-52	両方	〇	高台の拭き取り痕が残りやすい
黄瀬戸	¥1,800	¥7,650	1200~1230℃	48-55	酸化	〇	
グリーン貫入	¥2,320	¥9,860	1210~1230℃	52-62	酸化	〇〇〇	厚い部分に結晶に似た貫入が入る
黒天目	¥2,200	¥9,350	1230~1250℃	55-60	両方	〇〇	高台の拭き取り痕が残りやすい
酸化青磁	¥2,000	¥8,500	1230~1250℃	55-58	酸化	〇〇	
白萩	¥1,720	¥7,310	1180~1200℃	48-58	両方	〇〇	
辰砂釉	¥1,800	¥7,650	1230~1280℃	50-60	還元	〇〇	酸化ではきれいなエメラルドグリーン
志野釉	¥1,800	¥7,650	1230~1280℃	48-55	両方	〇〇〇	緋色は極端に遅い冷却が必要
CS 白	¥2,600	¥11,050	1220~1250℃	52-60	両方	〇〇	
511白	¥2,120	¥9,010	1200~1250℃	48-58	両方	〇〇	薄い箇所は青色に発色
チタンマット釉	¥2,200	¥9,350	1180~1250℃	48-55	両方	〇	
透明	¥1,480	¥6,290	1210~1250℃	45-55	還元	〇	
陶貫入	¥2,000	¥8,500	1200~1230℃	52-62	酸化	〇〇〇	厚い部分に結晶に似た貫入が入る
トルコ均窯マット	¥2,200	¥9,350	1200~1250℃	50-58	両方	〇	
土灰釉	¥1,720	¥7,310	1200~1250℃	50-58	両方	〇	
ナマコ	¥2,200	¥9,350	1200~1230℃	52-58	酸化	〇〇	
乳白釉	¥1,920	¥8,160	1230~1250℃	52-55	酸化	〇〇	
ネズミ志野	¥1,800	¥7,650	1230~1280℃	50-62	還元	〇〇〇	
灰釉GR	¥1,600	¥6,800	1220~1250℃	45-52	還元	△	
ひいろ7号釉	¥2,920	¥12,410	1210~1230℃	45-52	両方	△	厚い施釉は濃緑がかった透明となる
ペルシアンブルー	¥2,920	¥12,410	1200~1230℃	45-52	両方	〇〇	
鳳凰マット	¥1,800	¥7,650	1200~1230℃	48-55	両方	〇〇	白色のキメが細かいマット釉
松灰釉	¥2,200	¥9,350	1220~1240℃	45-52	酸化	〇	赤土に刷毛塗り焼メ風
水色貫入	¥2,320	¥9,860	1220~1240℃	52-62	酸化	〇〇〇	厚い部分に結晶に似た貫入が入る
るり釉	¥2,800	¥11,900	1230~1250℃	50-54	両方	〇〇	
ワラ灰釉	¥1,720	¥7,310	1180~1200℃	48-55	両方	〇	
灰志野	¥2,920	¥12,410	1230~1250℃	45-60	酸化	〇	とち洪に漬け、貫入に着色するとよい
瀬戸織部	¥3,520	¥14,960	1230~1250℃	48-58	酸化	〇〇	
瀬戸伊羅保	¥3,320	¥14,110	1230~1250℃	45-52	両方	〇	刷毛塗りが面白い
瀬戸黒	¥3,800	¥16,150	1230~1250℃	48-58	酸化	〇〇	還元では縮れるため×
油滴天目	¥2,320	¥9,860	1220~1250℃	48-52	酸化	〇〇	冷却を非常にゆっくりとすること
油滴茶天目	¥2,320	¥9,860	1220~1250℃	48-52	酸化	〇〇	冷却を非常にゆっくりとすること
黒マット	¥2,400	¥10,200	1200~1250℃	48-52	酸化	〇	
レモンイエロー	¥3,200	¥13,600	1220~1250℃	50-54	酸化	〇〇	
白化粧土	¥1,800	¥7,650	生掛け推奨(塗布時の粘土の乾燥具合に注意)				
とち洪		¥3,000	織部の洪抜き 貫入の色入れ				

「施釉厚さ」は〇〇1つがはがき一枚の厚さです。三角はそれ以下となります。

焼成は推奨の焼成方法であり、違う焼成でも問題ない場合もございます。

